

2023 年度 緑の国際ボランティア研修(カンボジア)

カンボジア国では、2006年時点で国土の60%を覆っていた森林面積が、開発行為等によって2016年には45%に減少し、自然資源の枯渇や気候変動によって高まる自然災害のリスクに、人々の生活が脅かされています。国際緑化活動の重要性や「緑の募金」が果たす役割について研修員の理解を深めることを目指し、カンボジア国において2024年3月7日(現地着)から3月14日(現地発)に至る8日間、「緑の国際ボランティア研修」を実施しました。本研修では、NGOが取り組む植林活動地の視察、植林地管理活動の体験、森林の炭素貯留量を推定する森林資源調査等に取り組みました。具体的には10人の研修員が研修中に取り組むテーマとそのテーマに基づいて3グループに分かれ、それぞれのグループにおいて仮説を設定しました。各グループは地域住民への聞き取り調査や現地大学生との意見交換を通して仮説の検証を進めました。その過程で研修員はカンボジア国における森林管理の現状やその背景を学び、人と自然との共生の在り方や持続可能な開発についての考察を深めました。最終日には研修成果発表会が開催され、研修の総括と仮説の検証結果とともに、持続可能な森林管理に向けた具体的なアクションプラン等を発表しました。



コミュニティーフォレストにおける森林資源調査
(2024年3月11日、クラチェ州)



緑の募金事業地における植林苗木活着調査
(2024年3月9日、コンボンチャム州)



現地大学生との意見交換
(2024年3月12日、トボンクムン州)



緑の募金事業地における補植活動
(2024年3月10日、クラチェ州)



修了書授与式後の記念撮影
(2024年3月14日、プンペン)

暫定版 (2024年5月までに正式版をアップロード予定)